6月に完成した㈱ケイワード九州　長崎営業所

職場環境を良くしたい建築の選択肢

長崎県で初のATAハイブリッド構法

㈱ケイワード九州　長崎営業所（長崎県諫早市）

工事概要

【工事名】	㈱ケイワード九州長崎営業所　新築工事	【発注者】	㈱ケイワード九州
【所在地】	長崎県諫早多良見町化屋字浜田 1806 番	【施工】	㈱吉次工業
【延床面積】	600, 16㎡（181. 55 坪）	【構造】	木造２階建
【設計監理】	一級建築士事務所 YME 設計	【用途】	倉庫・事務所・共同住宅

建て方工事（３月 20 日）　ＡＴＡハイブリッドトラスは６フレーム、スパン（柱間距離）10. 92 m

㈱ATA（所在地：富山県滑川市）が提供している「ATAハイブリッド構法」を採用した建築物が長崎県諫早市で6月に完成した。

完成したのは家電卸業のケイワード九州 長崎営業所。木造2階建て。倉庫付き事務所で、1階事務所、2階会議室、1階倉庫と吹きぬけ倉庫から成る。

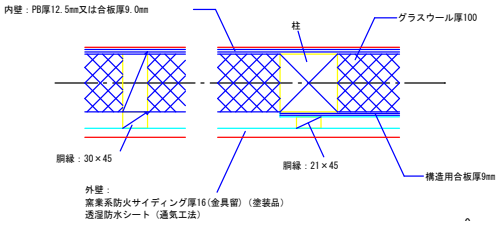
敷地面積1170㎡、延床面積600・16㎡、建物高さ約9・4m。ATAハイブリッド構法は、3・64mピッチで6フレーム、スパン（柱間距離）10・92m。積雪荷重30cmに対応。工期は1月から6月までの6カ月間。施工は吉次工業（長崎県諫早市）。プレカットは黒田木材商事㈱ 佐賀プレカット工場。3月19日・20日の2日間で建て方工事を行った。

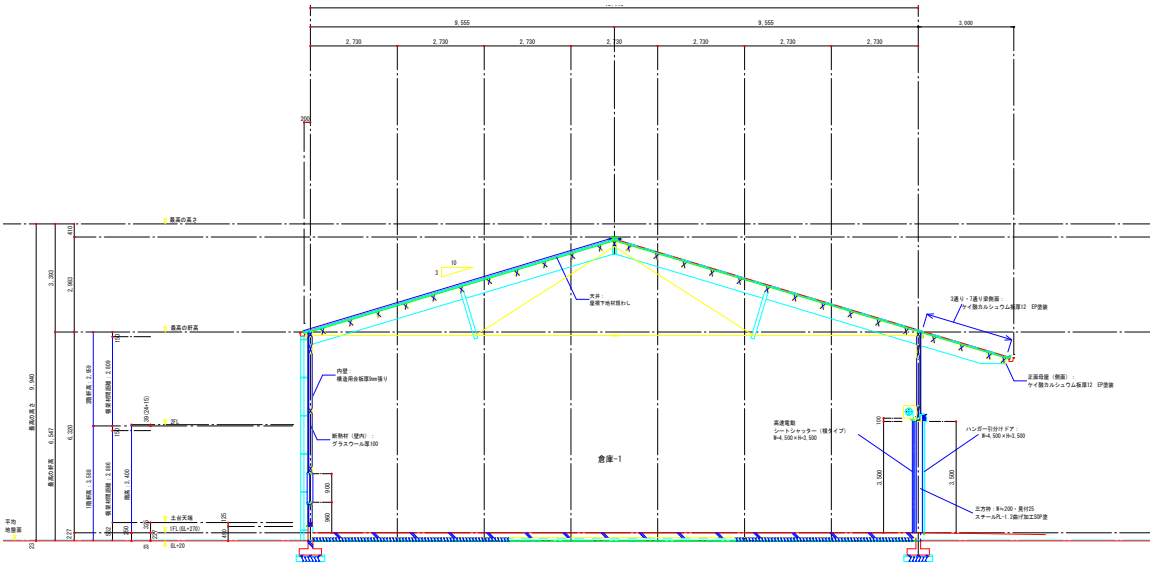
設計を行った一級建築士事務所YME設計（熊本県菊池郡菊陽町）によると、今回の依頼では、職場環境を良くしたいという建築主の思いから、木造を選択肢した。木構造としては熊本の勉強会で紹介があったATAハイブリッド構法を採用した。

デザイン面から見ると、梁の下弦材に鉄の丸鋼を使ったハイブリッド仕様のため、空間的にすっきりとした意匠が可能になった。吹きぬけの倉庫や2階天井の一部から木材が見えるデザインとなった。

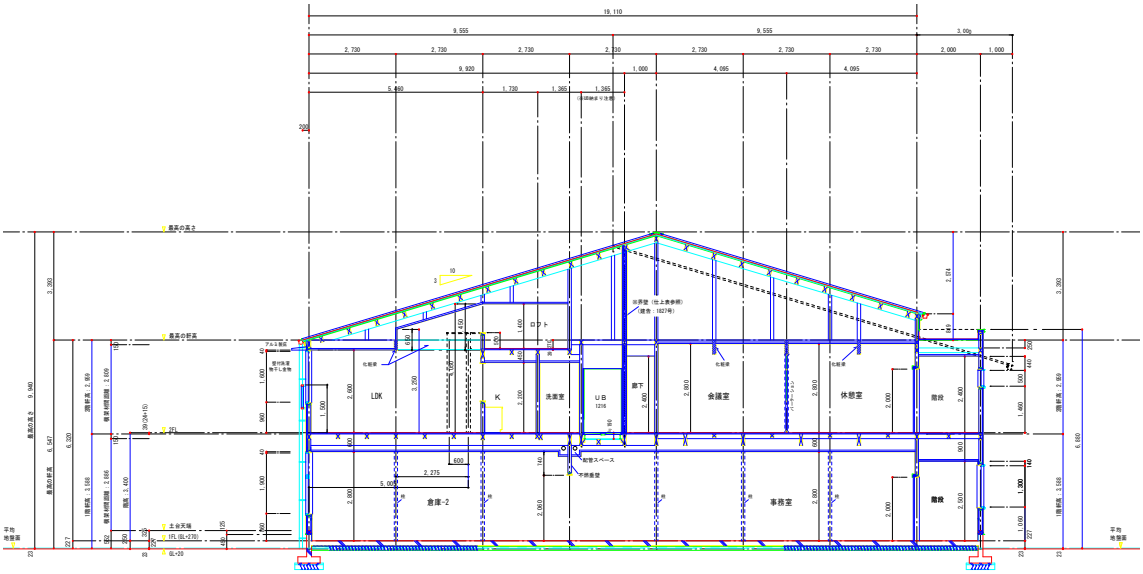
コスト面で見ると、木造を採用したことで10mにも及ぶような杭基礎の工事の必要がなく、住宅と同等の基礎で施工できるため、鉄骨造と比較して確実に有利に働いた。

防火（法22条地域）エリアで、防火サイディングや天井断熱をほどこし、スチールの倉庫と比べて夏場の暑さをしのぎやすくなった。木の香りでやすらぎのある環境となり、木のぬくもりにあふれた事務所と倉庫で、作業効率の向上も期待できる。





断面図１（北東妻側）



断面図２（南西妻側）